

情報教育の全体計画

重点目標

- 互い尊重し合う子ども
- 意欲的に学ぶ子ども
- ・思いやりと助け合い・自らを高める
- ・「確かな学力」の向上・学び合う姿

重点

情報通信社会における「生きる力」の基本的資質として、情報を活用する能力を育成する。

情報教育で付けたい力

- 情報活用の実践力（情報の処理，創造，伝達，メディアコントロール）
- 情報社会に参画する態度（情報モラル，責任感）
- 基本的な情報機器の操作能力

情報教育の指導の重点

- コンピュータなどの情報機器を有効に活用することを通して，情報を処理する能力の育成を図る。
- 情報モラルの徹底を図り，正しく有益な情報を取捨選択する能力の育成を図る。
- 電子黒板，実物投影機の活用を図る。

具体目標

	低 学 年	中 学 年	高 学 年
実践力	<ul style="list-style-type: none"> ・好きな情報を集めることができる。 ・情報をまとめ，絵や文章に表すことができる。 ・メディアコントロールの大切さを理解する。 (出雲崎町全体でノーメディア・デーの実施) 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な情報を取捨選択できる。 ・情報に自分の考えを加えてまとめることができる。 ・発表方法を広げることができる。 ・メディアコントロールについてめあてをもって守ろうとする。 (出雲崎町全体でノーメディア・デーの実施) 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じた情報の取捨選択ができる。 ・校内や地域に情報を効果的に発信することができる。 ・メディアコントロールについて主体的に実践する力をつける。 (出雲崎町全体でノーメディア・デーの実施)
参画する態度	<ul style="list-style-type: none"> ・話を聞く態度を身に付ける。 ・お礼の手紙やインタビューなどのマナーを理解する。 ・電話番号や住所を知らない人に教えない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝達方法を理解する。 ・複数の情報を得て，比較しながら理解する。 ・情報には誤ったものがあることに気付き，真偽を確認する行動がとれる。 ・不適切な情報に出合った時に，適切な行動がとれる。 ・コンピュータの健康への影響を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の情報を比較しながら正しい情報を理解する態度を身に付ける。 ・インターネットなどの匿名性を知り，マナーを理解する。 ・携帯電話等の利用に伴う危険性を知る。 ・著作権について理解する。
操作能力	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの基本的な操作。 ・コンピュータの描画ソフトの操作。 ・ひな形を用いたワープロ文書の作成。 ・作品の印刷。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットの活用。 ・ワープロ文書の作成。 (ローマ字入力をめざす) ・文書への画像貼り付け。 ・デジタルカメラの操作。 ・スキャナーの操作。 	<ul style="list-style-type: none"> ・データベースの活用。 ・インターネットやLANなど，ネットワークの活用。 ・プレゼンテーションソフトの活用。 ・電子黒板の活用。